

WEB 連載 Entertainment・Essay

木村奈保子の
音のまにまに

Written By NAHOK KIMURA

津軽のカマリ、名匠高橋竹山の物語

木村奈保子の音のまにまに | 第4号

2018年公開の「アメリカン・ミュージック・ジャーニー」はルイ・アームストロング、エルビス・プレスリーなど、音楽史上に残るミュージシャンの歴史を振り返るドキュメントフィルム。ポイントは、ポップミュージシャンのアーロン・ブラックが、リポート役で登場し、現在も活動するキューバ生まれの歌手、グロリア・エステファンやジャズピアニストのラムゼイ・ルイスらと音楽的交流を展開しながら、アメリカの地を巡るという構成。40分のショートフィルムだが、底に流れる古き良きアメリカへの郷愁、そして音楽家に対するリスペクト感があふれ、心地良い。

今年は「エリック・クラプトン 12小節の人生」について前回にふれたが、年末はフレディ・マーキュリーの「ボヘミアン・ラプソディ」、レディ・ガガの「アリーノスター誕生」と華やかな音楽映画がつづく。

アメリカの音楽映画は、ドキュメントの場合は歴史のミュージシャンが存在するし、ドラマになる場合は、俳優のなりきりぶりが激しており、主人公の音楽性にまで近づくため、想定外のクオリティーになる。音楽という情景が違ってくる。

さて、日本の場合はどうか？

楽しみにしていた映画「津軽のカマリ」は、日本の音楽ドキュメントとして完成度が高い。ドキュメントにするには、ミュージシャンのクオリティーありきだが、のっけからその「音」の力で、いっぺんに物語へと引き込まれていく。



©2018 Koichi Onishi

主人公は、まさにアメリカ人のブルースと同じ匂いを持つ、繰繰みの生活から生まれたブルースだ。

津軽三味線の名匠、高橋竹山の物語は、誰しも映画化したくなる生き様で、過去にも1977年、「竹山ひとり旅」が、映画界の巨匠、新藤兼人による脚本、監督で制作された。

このとき竹山役が林隆三で、その明るく軽すぎるキャラクターはどこから来るのか、得然としたものだ。美女が次々登場し、エロティックシーンもあるでよ、の新藤監督に音楽性は、どこにもない。

エンタテインメントの時代だったとしても、こんな生き様からあの「音」が出るわけがないだろう、と怒りさえ感じたが、その点、新作「津軽のカマリ」はタイトルにふさわしく、津軽の匂いがするような、生き様に重なる音楽映画になっている。

「それを聴けば津軽の匂い（カマリ）がわかるような、そんな音を出したいものだ。」

竹山の真実が響く。

麻彦（はしか）をきっかけに視力を失っていく若き竹山が、生きるために三味線を習い、見知らぬ家の前で“門付け”をしながら物乞いのような暮らしを始めるが……

ただ、演奏できる場所だけを求め、さまざまな出会いの中で、いかに「音」というものに目覚めていくのか？



©2018 Koichi Onishi

壮絶な境遇による苦労感が語られるが、竹山の場合は、それを見事なまでに「芸」として昇華している。だみ声の唄り口調も、顔の深い表情も三味線の沁み入る音と一体化し、実に美しい。音楽はうまくやるものではない、という意味がよくわかる。

「視力を失い、確生るために、
三味線とともに彷徨った
高橋竹山と吾輩の世を渡った
名もなき北東北の人々の魂が
三弦の音色とともに蘇る。」（映画より～）

こうした先代の物語があり、そこから生まれた音があり、別の時代に新しい音が生まれていくのだろう。

昨今の津軽三味線は、リズムカルで力強く、爽にかっこいい。若者や海外の人にも受けるスタイルに磨かれ、テクニックも凄い。2代目竹山は女性でしられているし、人気の吉田兄弟やAUN井上兄弟など津軽三味線の直の魅力は洗練され、海外でも評価を得ている。

しかし底に流れる、津軽のカマリが満えることはないだろう。



©2018 Koichi Onishi

映画『津軽のカマリ』公開情報

11月3日(土)より青森・青森松竹アムズ、柏シネマヴィレッジ8 イオン柏

11月10日(土)より東京・ユロスベース 他全国津次公開

公式ウェブサイト: www.tsugaru-kamari.com

NAHOK Information



「雨の日は、三味線が濡れて弾けないから、笛を吹いた」映画のセリフが印象的です。木村奈保子
雷の中の湿度調整も可能なNAHOK防水三味線ケースがあれば・・・BY NAHOK

[NAHOK湿度調整実験 ↓](#)

PRODUCTS



◆WEB限定!! リュック式 民謡&津軽三味線 プロテック
ショウケース
「Nitaboh4/wf」(スカーレット/ホワイトスペシャル
コーティング) with/ケース

【ドイツ製完全防水生地 x 特殊湿度・温度調整機能
with 防霉除菌素材 x 止水ファスナー】
Made in Japan / Fabric from Germany
販売価格: 38,070円(税込)



◆WEB限定 津軽&民謡大サイズ バチケース
「KUBO」

ホワイトスペシャルコーティング
【ドイツ製完全防水生地 x 特殊湿度調整機能 with 止水
ファスナー】
Made in Japan / Fabric from Germany
販売価格: 4,104円(税込)

問合せ&詳細はNAHOK公式サイトへ

木村奈保子さんがプロデュースする「NAHOK」は、欧州製特殊ファブリックによる「防水」「防熱」「耐衝撃」「耐湿度」の楽器ケースで、世界第一線の演奏家から愛好家まで広く愛用されています。 <http://nahok.com>

>>>BACK NUMBER

第1回: 平島オリビックと音楽

第2回: MeTooの土壌、日本では?

第3回: エリック・クラプトン〜サウンドとからむ生きざまの物語〜

第4回: 津軽のカマリ、名匠高橋竹山の物語

第5回: ヒロイックな女たち



<前の記事

エリック・クラプトン〜サウンドとからむ生きざま…

ヒロイックな女たち

次の記事>

THE FLUTE お知らせ



THE FLUTE vol.174
THE FLUTE | バックナンバー
FLUTE CLUB入会・更新はこちら
フルート楽譜一覧

ENTRY 投稿・応募
>>> THE FLUTE アンケート一覧へ



Brand guide
メロノームと上手に
付き合うと楽器がうまくなる



KORG KDM-3
クラシック音楽の新たな魅力を
体験してみませんか?

